



第44期（2019年3月期）第2四半期 決算説明会

株式会社 ミマキエンジニアリング

2018年11月



Mimaki®

本日の内容

- ❖ 2019年3月期連結業績 上期実績
- ❖ 2019年3月期連結業績 通期予想
- ❖ トピックス



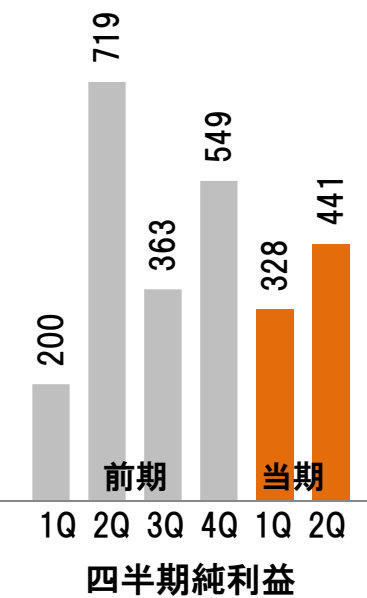
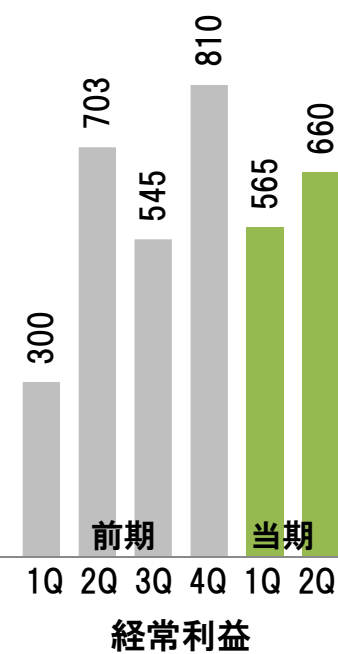
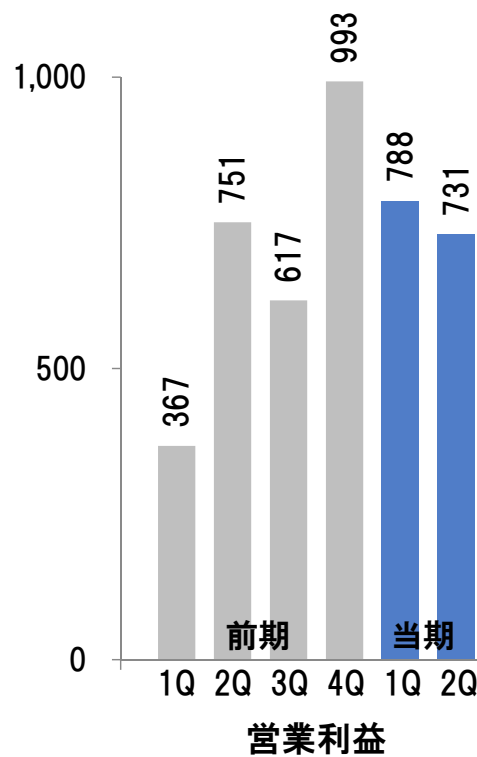
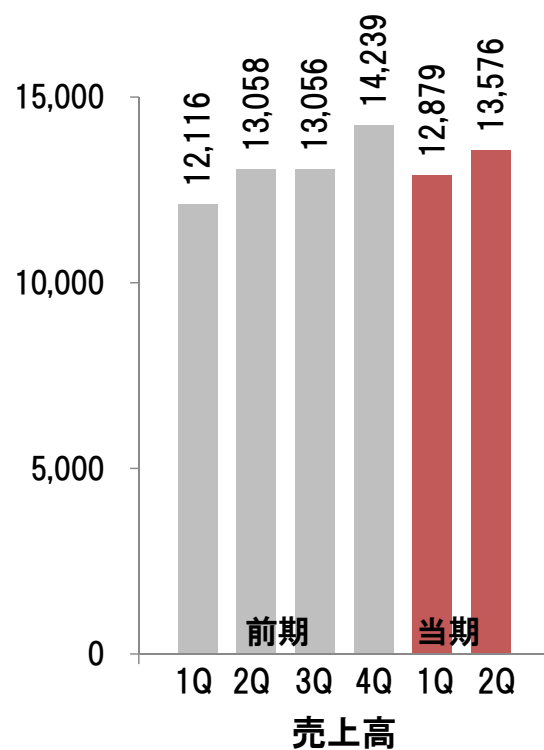
❖ 2019年3月期連結業績 上期実績



連結業績ハイライト (2019年3月期 2Q&上期実績)



(単位:百万円)	2018年3月期(第43期)			2019年3月期(第44期)				
	第1Q	第2Q	上期	第1Q	第2Q	上期	前年同期増減率	為替影響除く前年増減率
■ 売上高	12,116	13,058	25,174	12,879	13,576	26,455	5.1%	6.2%
■ 営業利益	367	751	1,119	788	731	1,520	35.9%	58.2%
■ 経常利益	300	703	1,004	565	660	1,225	22.1%	
■ 親会社株主に帰属する 四半期純利益	200	719	920	328	441	769	△16.4%	
為替米ドル (期中平均)	111.10	111.04円	111.07円	109.07円	111.46円	110.27円	△0.7%	-
ユーロ	122.19	130.38円	126.29円	130.06円	129.62円	129.84円	2.8%	-



営業利益増減要因 (2018/3期上期 vs 2019/3期上期)

(単位:百万円)

【通貨別影響額】

USD/111.07円 → 110.27円	△23
EUR/126.29円 → 129.84円	153
TRY/31.33円 → 22.54円	△117
BRL/34.85円 → 29.27円	△155
その他(INR、AUD、IDR等)	△107
合計	△249

【売上・原価・営業利益への為替影響】

売上高△284 - 売上原価26 - 販管費△61 = 営業利益△249

販管費増加の要因(補正後)

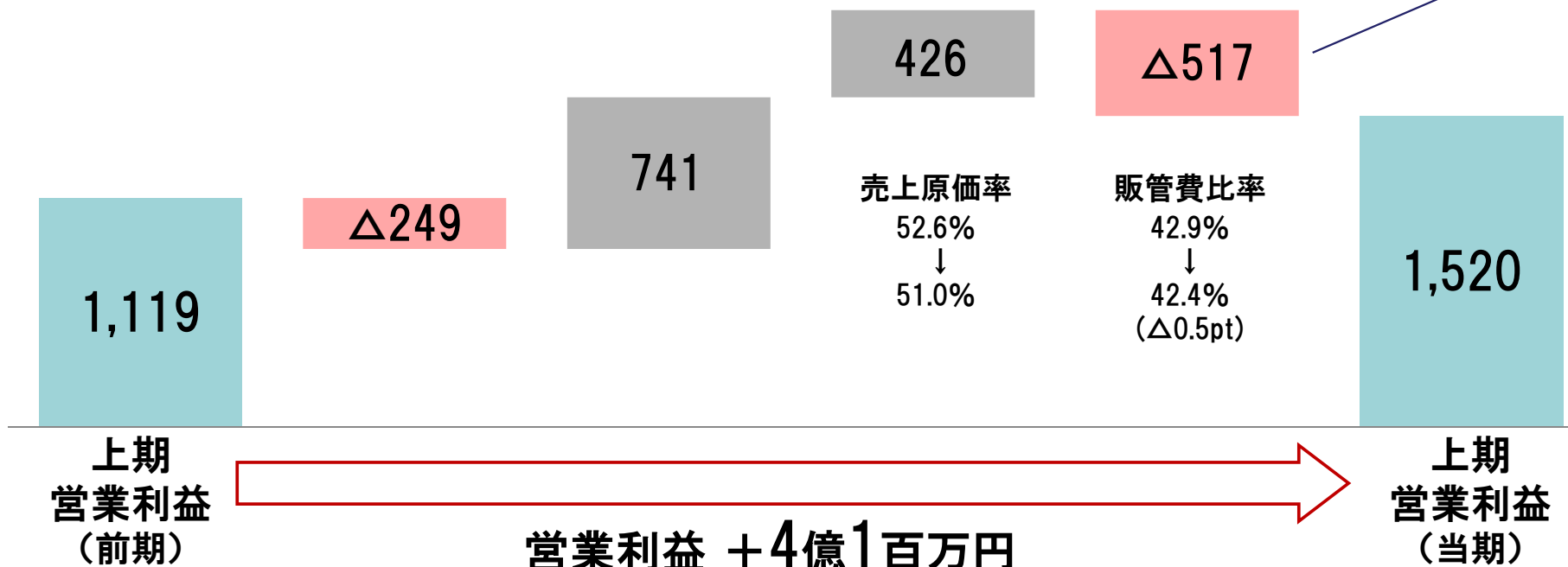
人件費	+302
支払手数料	+129
減価償却費	+119
開発費	△137
販促費	△153
その他	+257

① 為替影響額

② 増収効果
(為替影響除く)

③ 売上原価率
改善
(為替影響除く)

④ 販管費増加
(為替影響除く)

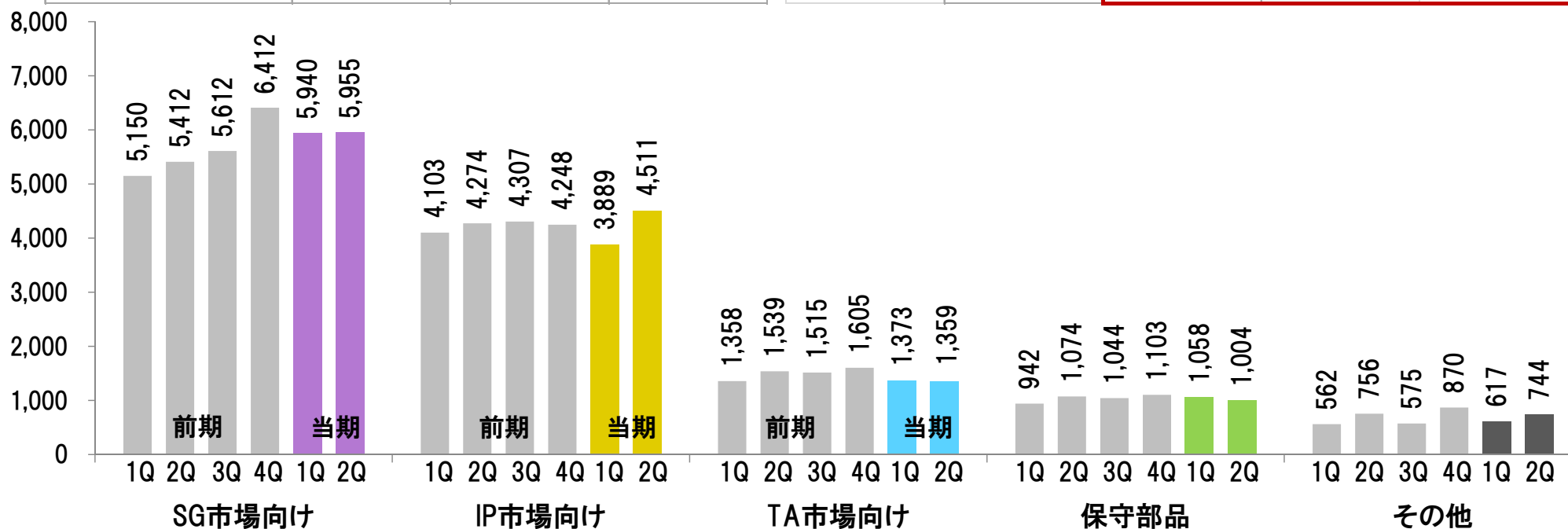


市場別売上高

(2019年3月期 2Q&上期実績)



(単位:百万円)	2018年3月期(第43期)			2019年3月期(第44期)				
	第1Q	第2Q	上期	第1Q	第2Q	上期	前年同期増減率	為替影響除く前年増減率
SG市場向け	5,150	5,412	10,562	5,940	5,955	11,896	12.6%	14.1%
IP市場向け	4,103	4,274	8,378	3,889	4,511	8,400	0.3%	0.5%
TA市場向け	1,358	1,539	2,898	1,373	1,359	2,732	△5.7%	△3.2%
保守部品	942	1,074	2,016	1,058	1,004	2,063	2.3%	
その他	562	756	1,318	617	744	1,362	3.3%	
合計	12,116	13,058	25,174	12,879	13,576	26,455	5.1%	6.2%

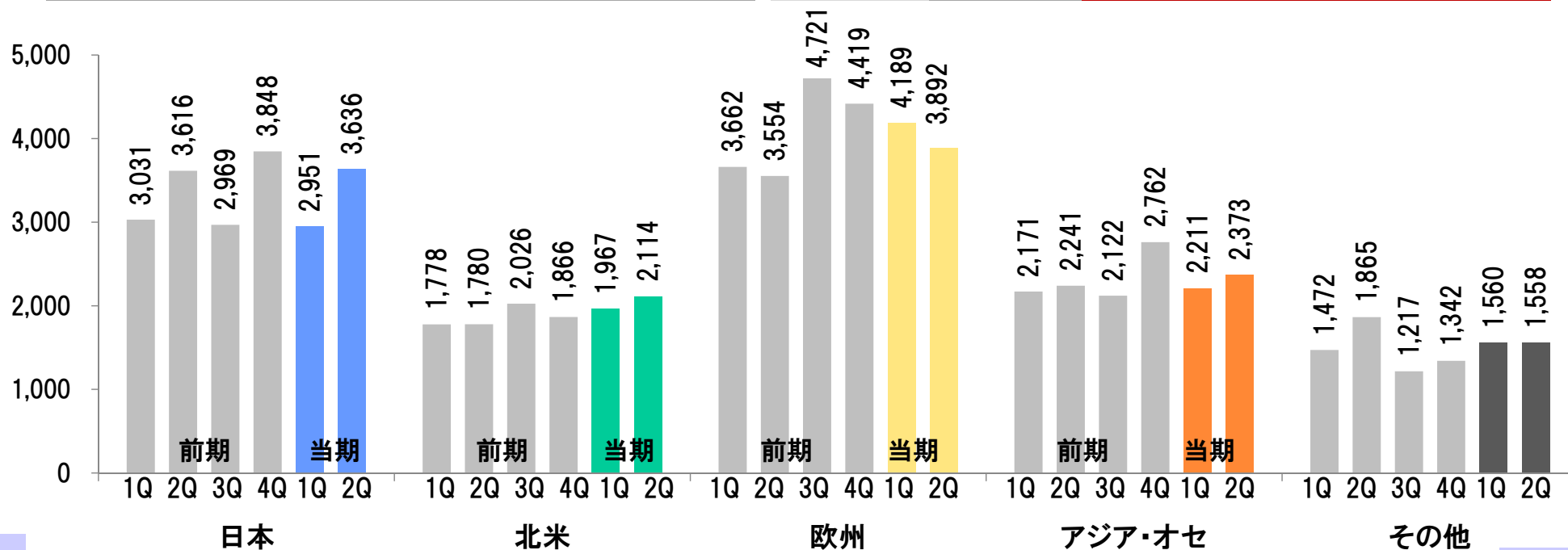


エリア別売上高

(2019年3月期 2Q&上期実績)



(単位:百万円)	2018年3月期(第43期)			2019年3月期(第44期)				
	第1Q	第2Q	上期	第1Q	第2Q	上期	前年同期増減率	為替影響除く前年増減率
■ 日本	3,031	3,616	6,647	2,951	3,636	6,587	△0.9%	-
■ 北米 (現地通貨/\$)	1,778 (16.0M)	1,780 (16.0M)	3,558 (32.0M)	1,967 (18.0M)	2,114 (18.9M)	4,081 (37.0M)	14.7%	15.5%
■ 欧州 (現地通貨/€)	3,662 (29.9M)	3,554 (27.1M)	7,217 (57.1M)	4,189 (32.2M)	3,892 (30.0M)	8,082 (62.2M)	12.0%	8.9%
■ アジア・オセ	2,171	2,241	4,413	2,211	2,373	4,585	3.9%	5.4%
■ その他	1,472	1,865	3,337	1,560	1,558	3,119	△6.5%	
合計	12,116	13,058	25,174	12,879	13,576	26,455	5.1%	6.2%



要約貸借対照表 (2018年9月30日現在)

(単位:百万円)		2018年 3月31日	2018年 9月30日	増減額	増減率
資産の部	現金及び預金	11,529	10,464	△ 1,065	△9.2%
	受取手形及び売掛金	9,232	8,233	△ 999	△10.8%
	たな卸資産	16,337	18,100	1,762	10.8%
	その他流動資産	2,061	2,221	160	7.8%
	流動資産合計	39,161	39,019	△ 141	△0.4%
	有形固定資産	9,248	9,500	251	2.7%
	無形固定資産	2,354	2,354	△ 0	△0.0%
	その他の資産	3,229	3,586	△ 326	△10.1%
固定資産合計	14,832	15,440	607	4.1%	
合計	53,994	54,460	466	0.9%	
負債・純資産の部	支払手形及び買掛金(※1)	8,674	9,184	509	5.9%
	短期借入金(※2)	11,483	10,700	△ 783	△6.8%
	その他流動負債	7,131	6,902	△ 229	△3.2%
	流動負債合計	27,289	26,786	△ 502	△1.8%
	長期借入金	8,237	8,851	614	7.5%
	その他固定負債	689	666	△ 22	△3.3%
	固定負債合計	8,926	9,518	591	6.6%
	負債合計	36,216	36,304	88	0.2%
純資産合計	17,778	18,155	377	2.1%	
合計	53,994	54,460	466	0.9%	

❖ 資産の部

- ①売上債権△999
- ②たな卸資産+1,762
→売上増加による
- ③有形固定資産+251
→欧州インク工場等

❖ 負債の部

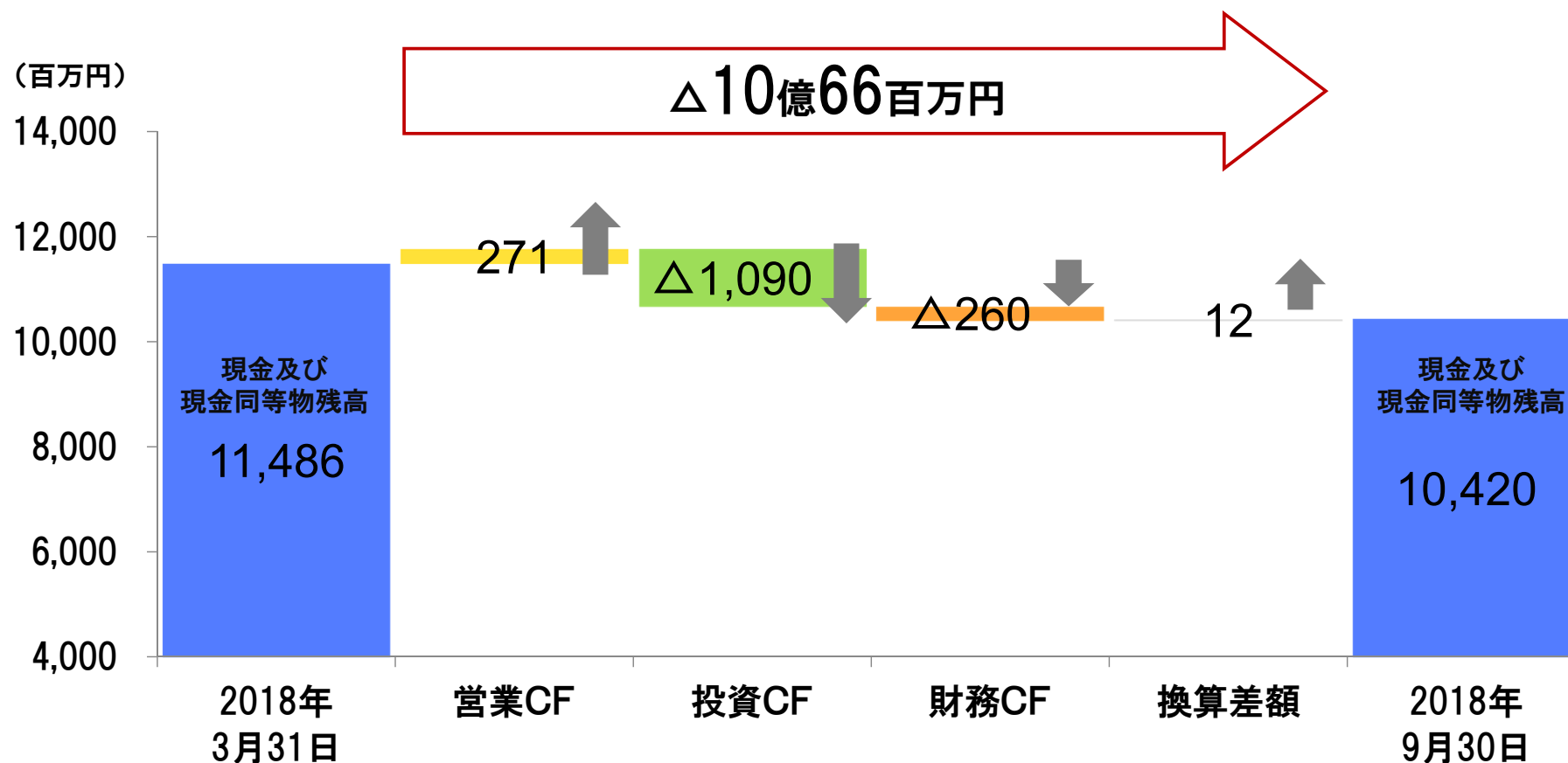
- ④支払手形及び買掛金+509
→生産増加による
- ⑤短期借入金△783
- ⑥長期借入金+614

❖ 純資産の部+377
→利益剰余金

(※1)電子記録債務を含む

(※2)1年内返済予定長期借入金を含む

キャッシュ・フロー (2019年3月期・上期)



営業キャッシュ・フローの状況

EBITDA(※)	2,202
運転資金増加	△ 1,111
税金、利払等	△ 819
合計	271

投資キャッシュ・フローの状況

固定資産の取得	△ 1,036
固定資産等の売却	20
その他	△ 74
合計	△ 1,090

財務キャッシュ・フローの状況

短・長期借入金収支	2
配当金	△ 224
その他	△ 38
合計	△ 260

(※) 利払前、税払前、償却前の営業利益

❖ 2019年3月期連結業績 通期予想

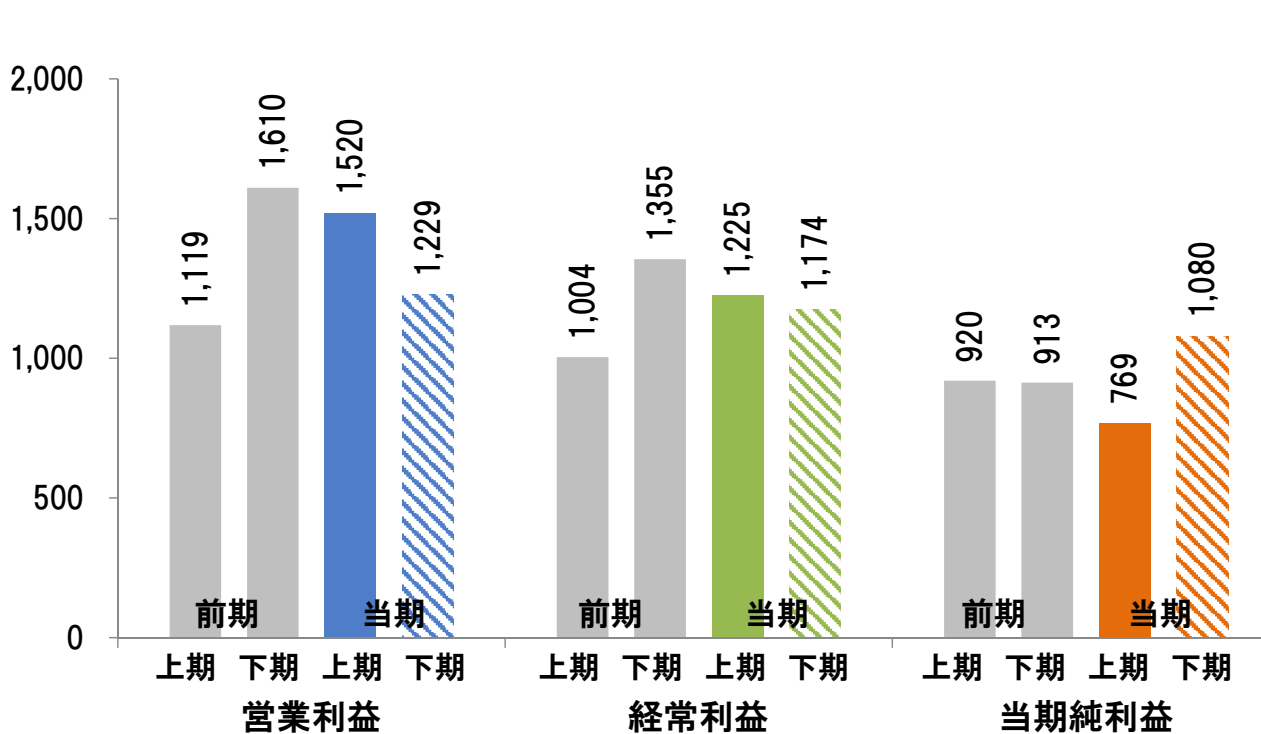
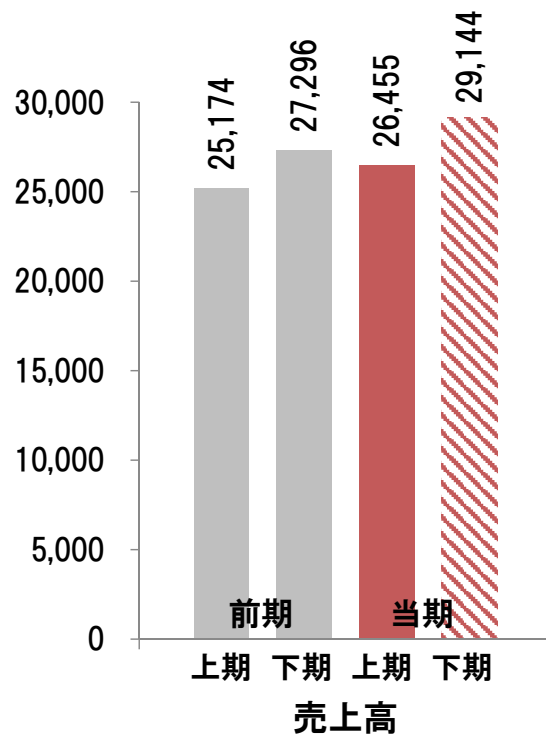


連結業績予想ハイライト (2019年3月期)



(単位:百万円)	2018年3月期(第43期)			2019年3月期(第44期)						
	上期	下期	通期	上期	前年同期増減率	下期(予想)	前年同期増減率	通期(予想)	前年同期増減率	為替影響除く前年増減率
■ 売上高	25,174	27,296	52,471	26,455	5.1%	29,144	6.8%	55,600	6.0%	9.2%
■ 営業利益	1,119	1,610	2,729	1,520	35.9%	1,229	△23.7%	2,750	0.7%	40.0%
■ 経常利益	1,004	1,355	2,359	1,225	22.1%	1,174	△13.4%	2,400	1.7%	
■ 当期純利益 <small>親会社株主に帰属する</small>	920	913	1,833	769	△16.4%	1,080	18.3%	1,850	0.9%	
為替米ドル (期中平均)	111.07円	110.64円	110.86円	110.27円	△0.7%	105.00円	△5.1%	107.64円	△2.9%	-
ユーロ	126.29円	133.12円	129.70円	129.84円	2.8%	128.00円	△3.8%	128.92円	△0.6%	-

* 期中に子会社化した2社(アルファデザイングループ、楽日)は影響が軽微なため予想に含めておりません。



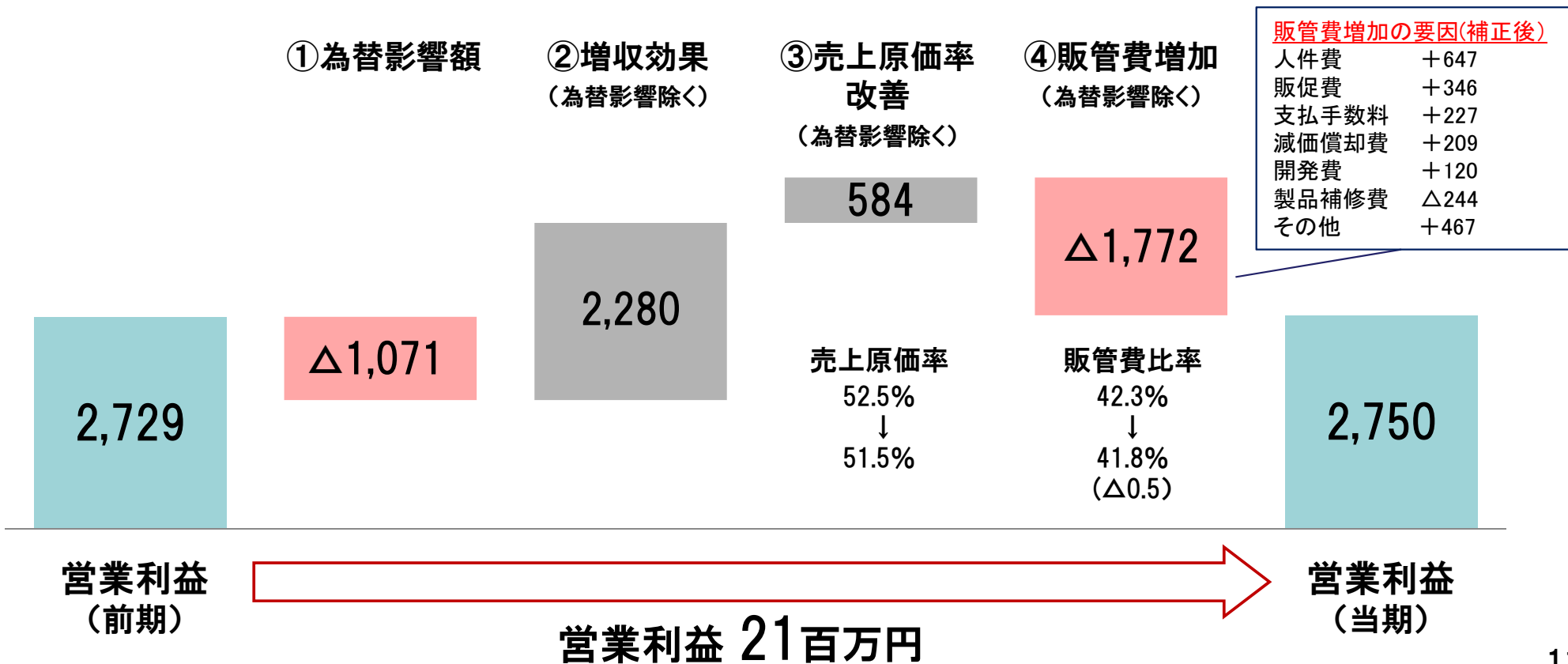
営業利益増減要因 (18/3期実績 vs 19/3期予想)

(単位:百万円)

【通貨別影響額】		
USD/110.86円	→ 107.64円	△203
EUR/129.70円	→ 128.92円	△74
TRY/ 30.21円	→ 19.57円	△274
BRL/ 34.47円	→ 27.27円	△373
IND/ 0.0083円	→ 0.0076円	△69
AUD/ 85.79円	→ 80.88円	△44
その他(IDR、CNY等)		△34
合計		△1,071

<為替感応度(1円/年)>		
	売上高	営業利益
USD	110	62
EUR	137	89

【売上・原価・営業利益への為替影響】
 売上高△1,672－売上原価△213－販管費△388＝営業利益△1,071

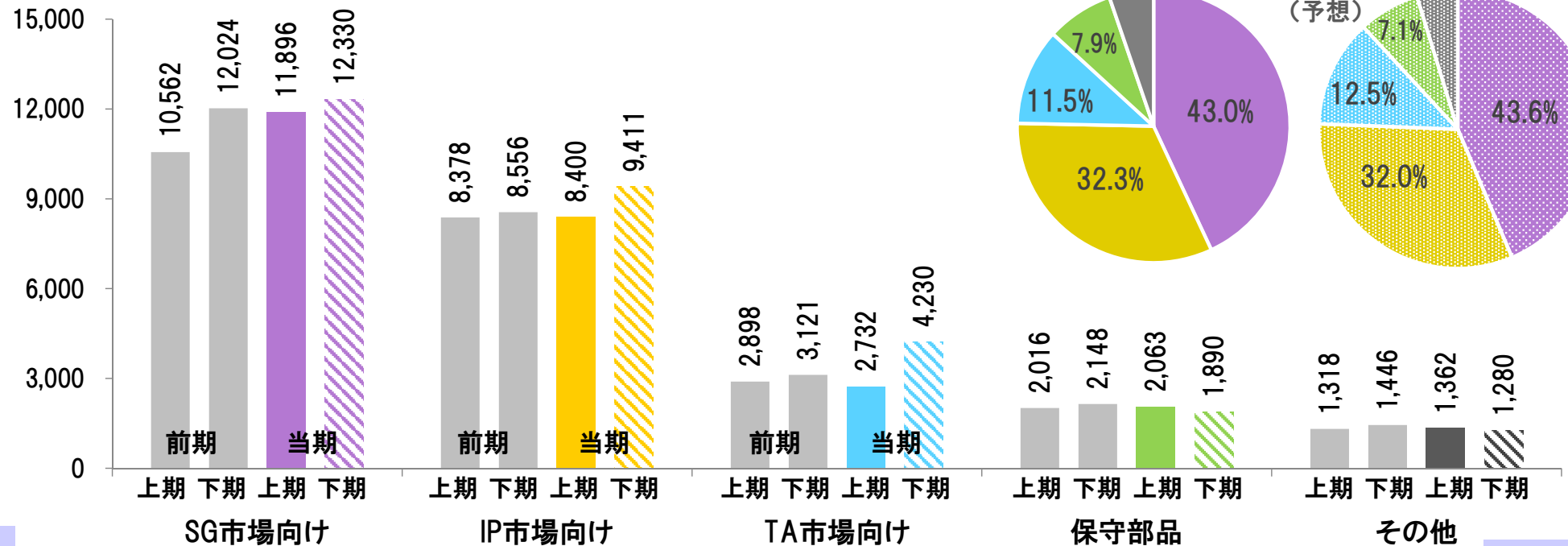
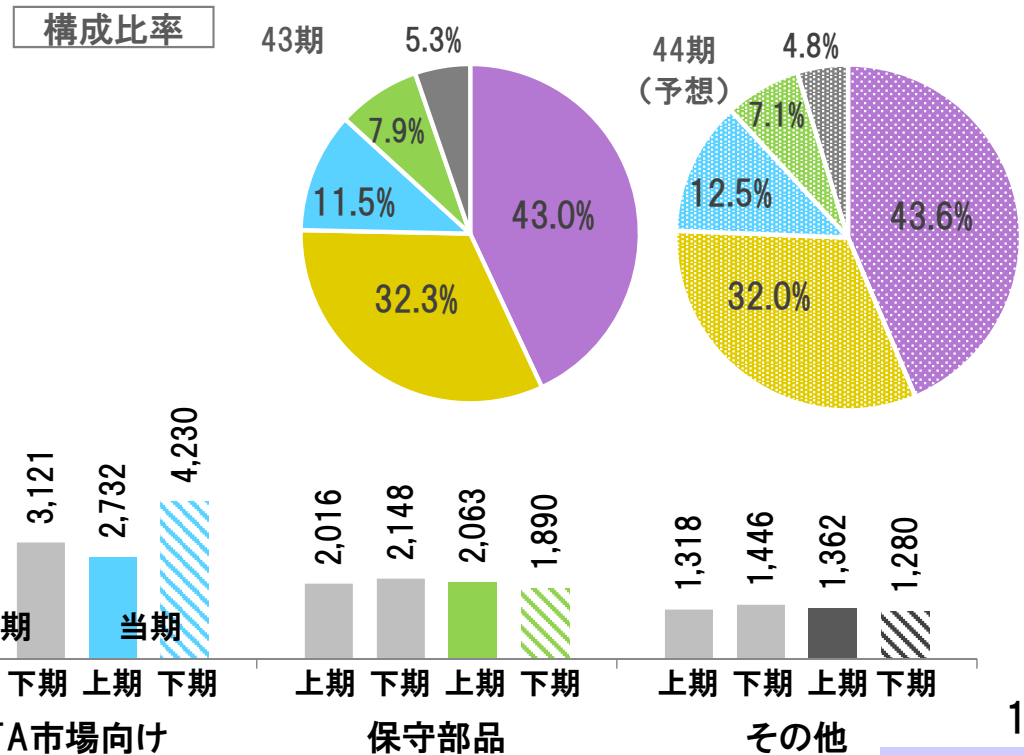


市場別売上高予想 (2019年3月期)



(単位:百万円)	2018年3月期(第43期)			2019年3月期(第44期)						
	上期	下期	通期	上期	前年同期増減率	下期(予想)	前年同期増減率	通期(予想)	前年同期増減率	為替影響除く前年増減率
SG市場向け	10,562	12,024	22,587	11,896	12.6%	12,330	2.5%	24,227	7.3%	10.7%
IP市場向け	8,378	8,556	16,934	8,400	0.3%	9,411	10.0%	17,811	5.2%	7.2%
TA市場向け	2,898	3,121	6,019	2,732	△ 5.7%	4,230	35.6%	6,963	15.7%	22.4%
保守部品	2,016	2,148	4,164	2,063	2.3%	1,890	△ 12.0%	3,953	△ 5.1%	
その他	1,318	1,446	2,764	1,362	3.3%	1,280	△ 11.4%	2,643	△ 4.4%	
合計	25,174	27,296	52,471	26,455	5.1%	29,144	6.8%	55,600	6.0%	9.2%

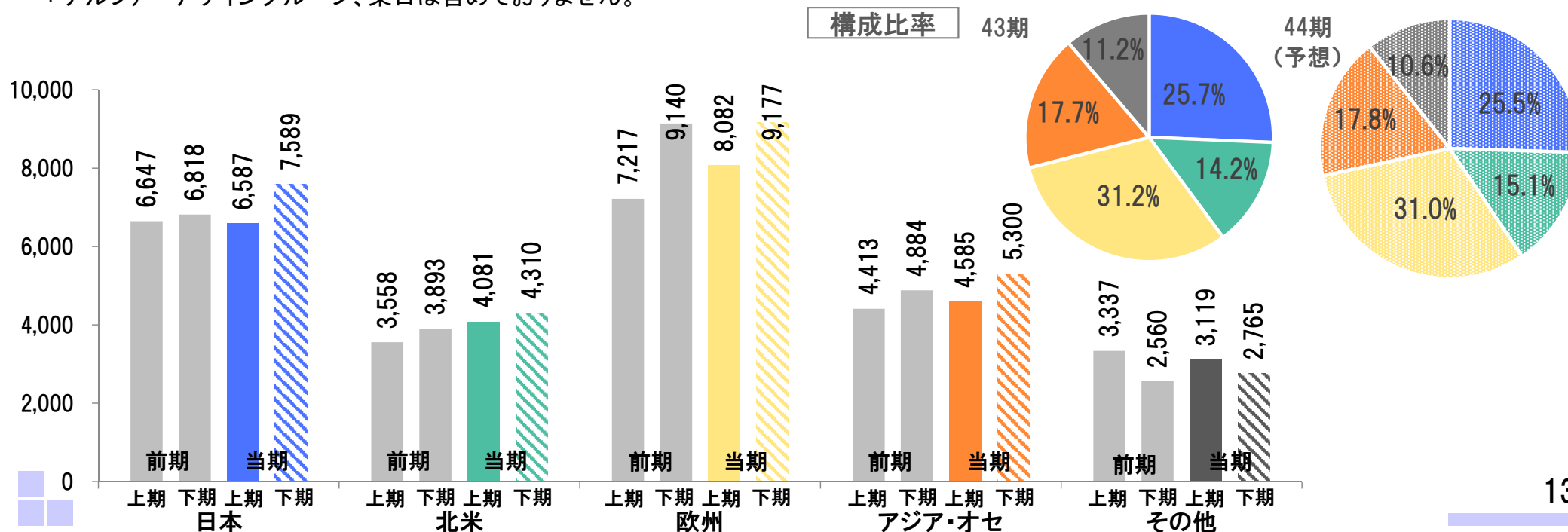
* アルファードesignグループ、樂日は含めておりません。



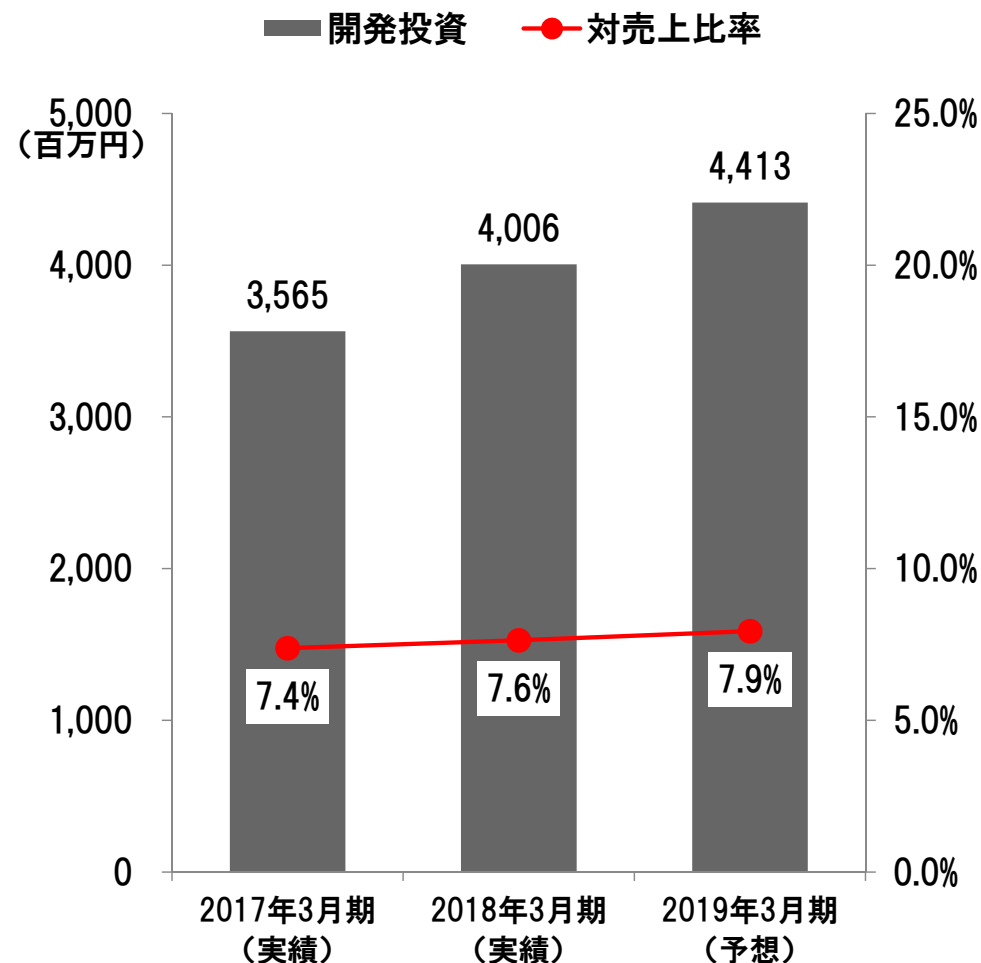
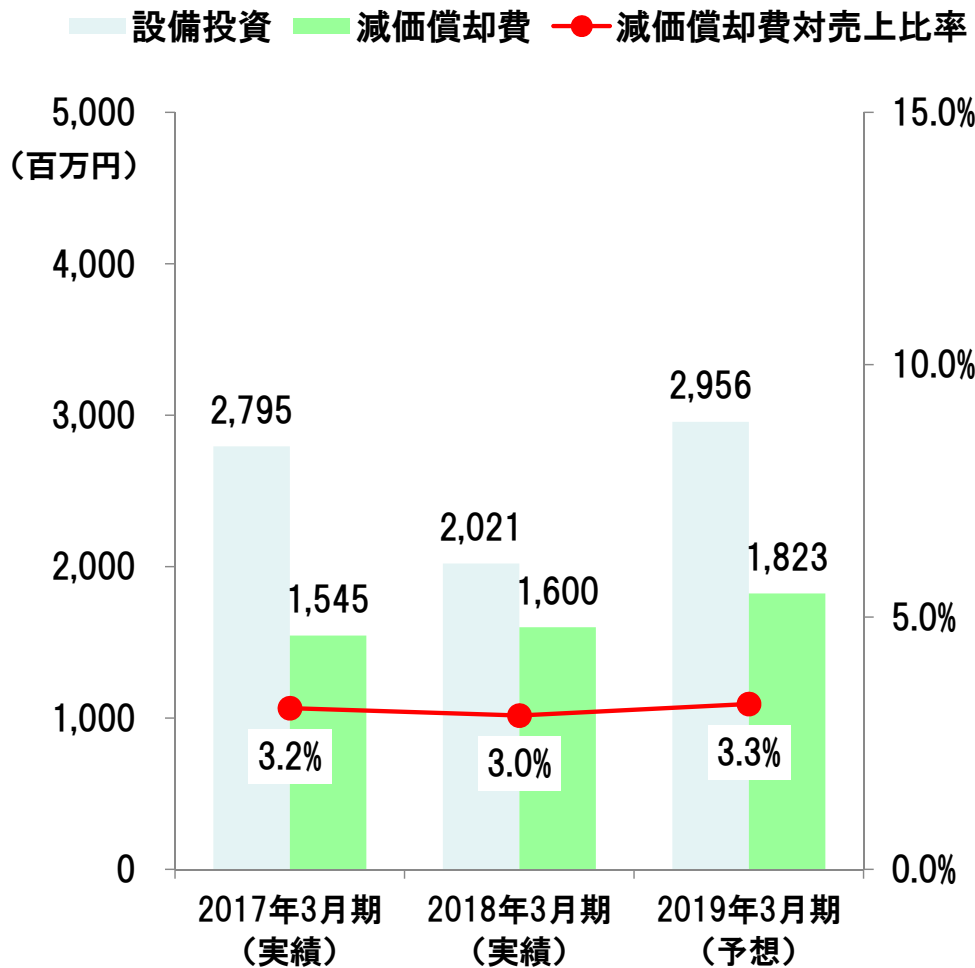
エリア別売上高予想 (2019年3月期)

(単位:百万円)	2018年3月期(第43期)			2019年3月期(第44期)						
	上期	下期	通期	上期	前年同期増減率	下期(予想)	前年同期増減率	通期(予想)	前年同期増減率	為替影響除く前年増減率
■ 日本	6,647	6,818	13,466	6,587	△ 0.9%	7,589	11.3%	14,177	5.3%	-
■ 北米 (現地通貨/\$)	3,558 (32.0M\$)	3,893 (35.1M\$)	7,451 (67.2M\$)	4,081 (37.0M\$)	14.7%	4,310 (40.9M\$)	10.7%	8,392 (77.9M\$)	12.6%	16.1%
■ 欧州 (現地通貨/€)	7,217 (57.1M€)	9,140 (68.9M€)	16,357 (126.1M€)	8,082 (62.2M€)	12.0%	9,177 (71.6M€)	0.4%	17,259 (133.8M€)	5.5%	6.4%
■ アジア・オセ	4,413	4,884	9,297	4,585	3.9%	5,300	8.5%	9,885	6.3%	6.3%
■ その他	3,337	2,560	5,898	3,119	△ 6.5%	2,765	8.0%	5,885	△ 0.2%	
合計	25,174	27,296	52,471	26,455	5.1%	29,144	6.8%	55,600	6.0%	9.2%

* アルファデザイングループ、楽日は含めておりません。



設備投資、減価償却、開発投資予想



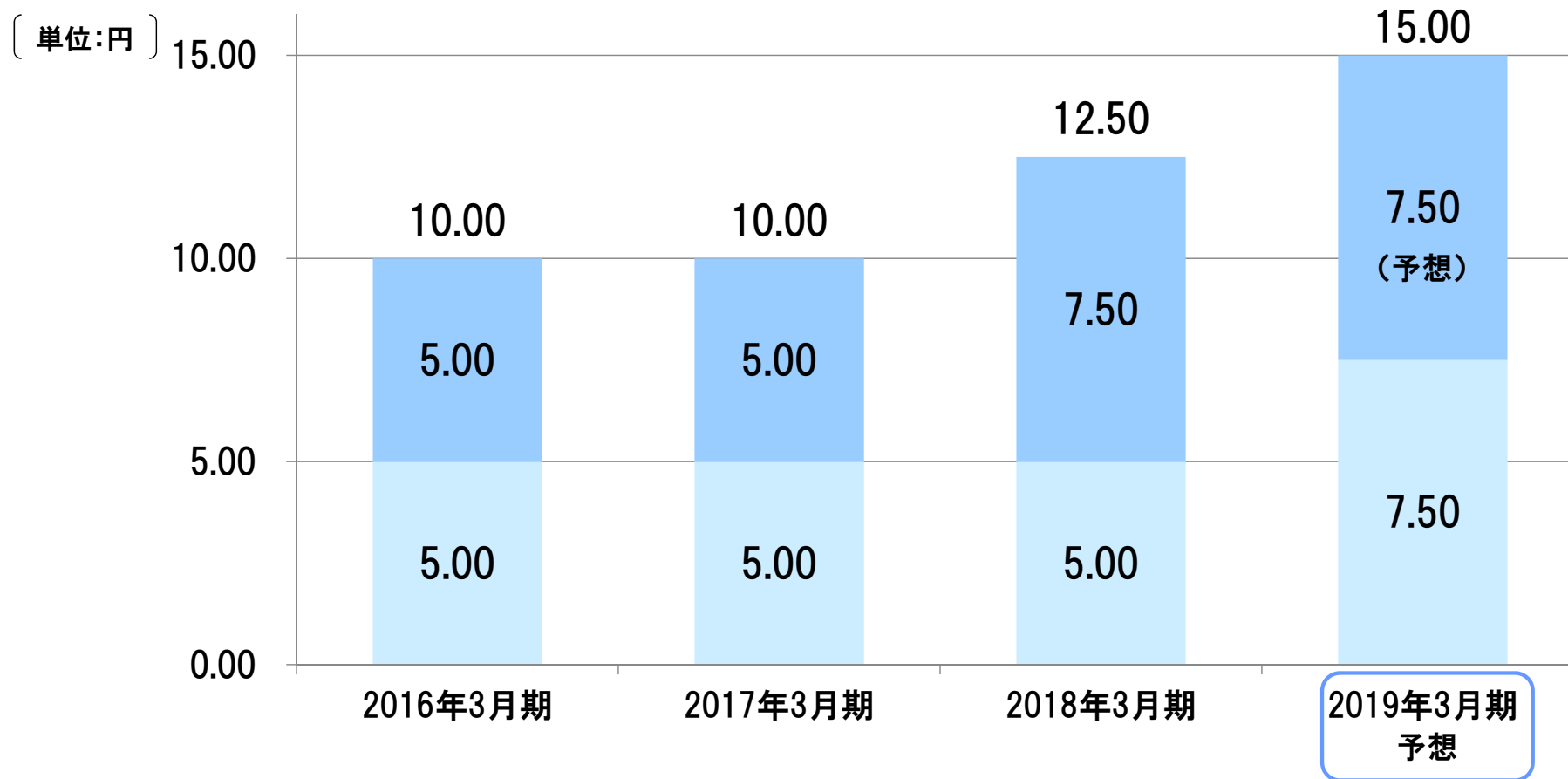
※ 主な設備投資計画(2019年3月期)

- 機械装置(EUインク工場他) 7億66百万円
- デモ機 4億50百万円
- 金型 3億25百万円
- 基幹システム 2億46百万円

※ 上記の金額は、研究開発活動に係る費用の総額を示すもので、既存製品の改良、応用等に関する費用が含まれております。
各会計年度の販管費における「研究開発費」は、17/3期24億13百万円、18/3期23億30百万円です。

配当予想 (2019年3月期・予想)

配当実績と当期予想



❖ トピックス

1. UCJVシリーズ

SG市場/関連する成長戦略

- ✓ 環境にやさしい製品による競合との差別化
- ✓ ラインナップの拡充

2. Tiger-1800B Mk II

TA市場/関連する成長戦略

- ✓ 生産地戦略に適した高速レンジモデルの追加

3. TS55-1800

TA市場/関連する成長戦略

- ✓ 消費地戦略に適したミドルレンジモデルの発売
- ✓ 消耗品ビジネスの拡大

4. M & A (アルファードesign、楽日)

IP市場、TA市場/関連する成長戦略

- ✓ 「自動化」「無人化」に向けた取り組み

5. 3DUJ-553

IP市場/関連する成長戦略

- ✓ 石膏方式をフルカラーインクジェット方式へリブレース






1. UCJVシリーズ



- SG市場向けエントリーモデル
- プリント&カットに対応
- LED-UV硬化インクジェットプリンタ
- 多層プリント機能を搭載

1-1. 環境にやさしいUVインクでの差別化

UVインク

- ✓ 環境にやさしい=VOCフリー  ポイント①  ポイント②
- ✓ 非塩ビにもプリント可能=環境に配慮した素材に印刷できる
- ✓ 省電力=ヒーター不要  ポイント③
- ✓ 即硬化、即後加工が可能 → 短納期に対応
- ✓ 高隠蔽性、高濃度、高精細、高耐候性

ソルベントとLatexの良いとこどり！

ソルベント

- ✓ 高画質、高発色
- ✓ 消費電力が比較的小さい

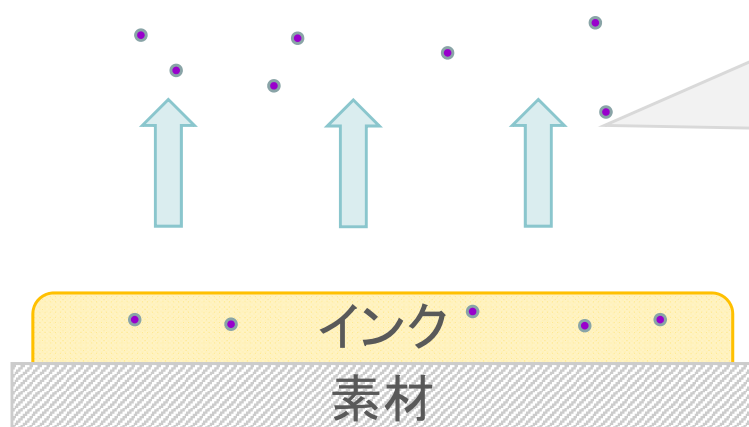
Latex

- ✓ Eco
- ✓ 即乾燥、即後加工
- ✓ メディア汎用性

1-1.①環境にやさしいインク

VOCフリーでエコフレンドリー

ソルベントインク



インクの原料は顔料 + 有機溶剤
溶剤成分の揮発によりインクが硬化

有害物質が発生



UVインク



インクの原料にVOC物質不使用
UV照射によりインクが硬化

有害物質がほとんど発生しない

+α

LEDのため
オゾン発生原因の紫外線は不使用

エコポイント①



1-1.② 非塩ビメディアにもプリント可能

環境に配慮した素材へのプリントができる

ソルベントインク

プリント可能な素材
塩ビのみ



不要になり処分



塩ビは、焼却の際に
有害物質が発生する
可能性がある



※塩ビの安定剤等として使用される物質の一部は、環境や人体への影響が懸念されています。

UVインク

プリント可能な素材

和紙



布



木材



etc

環境に配慮した素材への
プリントも可能

エコポイント②



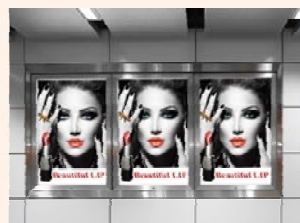
1-1.② 非塩ビメディアにもプリント可能

様々なメディアにプリント可能

屋内サイン



電飾(コルトン)



ポスター(経師紙, YUPO)



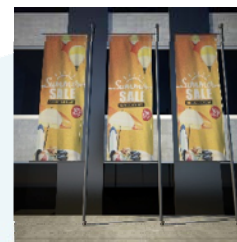
障子(和紙)

屋内装飾

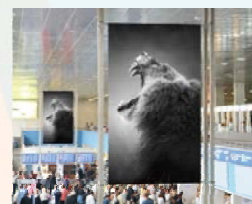


ウィンドウ装飾(透明PET)

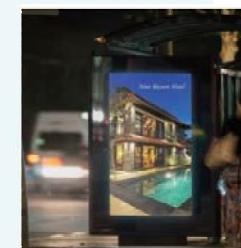
屋外サイン



ファブリック
(布)



ターポリン



電飾(FF)



ラベル/ステッカー



POP

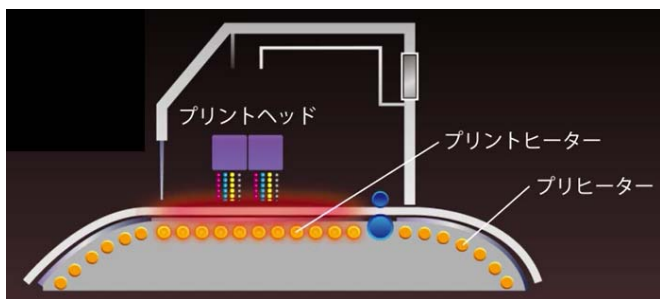
POP/ラベル

1-1.③消費電力が少ない

消費電力を抑えられるため、エコロジー

ソルベント・Latexインク

乾燥のためヒーターによる加熱が必要



UCJV300



Latexインク

熱による伸縮のためズレが発生

さらに温度バランスの違い → 色合いが不均一



※Latexインクを硬化させるには、60度以上(メディアによって100度)の加熱が必要。

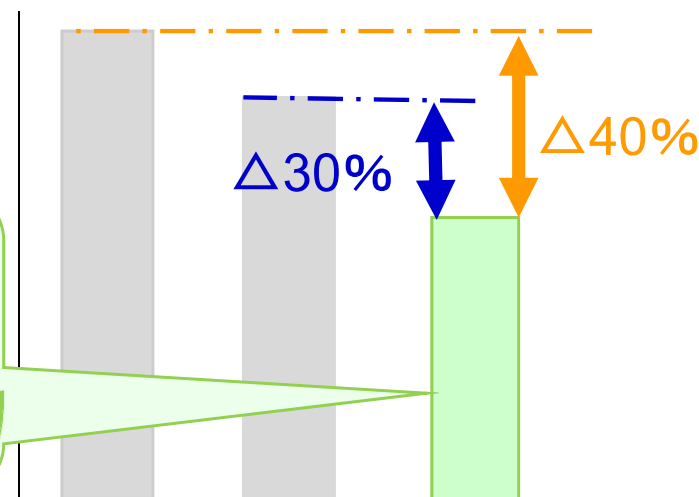
UVインク

UV照射によりすぐ硬化するため、ヒーター不要



UVインクはヒーター不使用のため、消費電力が少ない

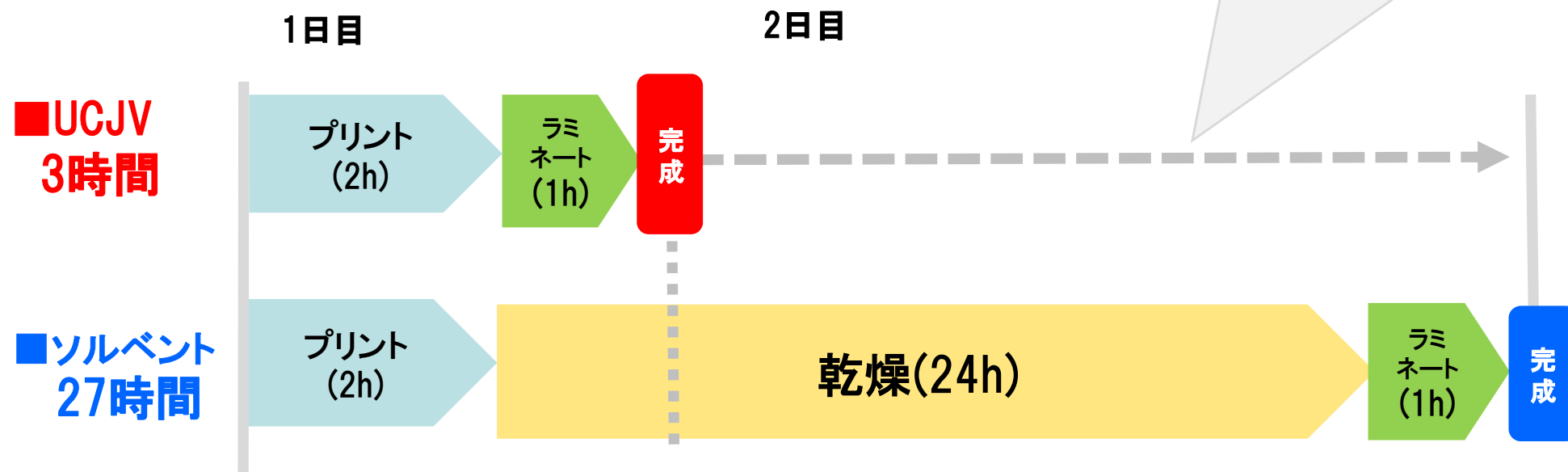
エコポイント③



1-1.④即硬化のため即加工・即施工が可能

短納期に対応できる

- ✓ 最大90%も製作時間を削減
- ✓ 当日施工の仕事も受注できる



※ 上記:900×1800mm看板を10枚出力、プリント速度(4c)15.7㎡/hとする場合

1-2.活用事例

ターポリン横断幕メイン機として使用 / 木村看板株式会社(東京都江東区)



<導入の決め手>

- ・隠蔽性の高い高濃度印刷で、対応メディアが増やせる

<効果>

- ・作業効率の向上
- ・インクコスト削減
- ・対応メディアの増加

LUS-170インクの高濃度白インク

新たな武器として / 株式会社シミズオクト(東京都新宿区)



<導入の決め手>

- ・作業工程の短縮
- ・白インクの仕事の内製化
- ・プリントメディアの汎用性の高さ

<効果>

- ・生産性の向上
- ・白インクの仕事の内製化でき、細かな表現までクオリティーが向上
- ・有素材や透明素材の出力を高濃度、高品質にこなせる

同社の若手が作ったミーティングルーム

1-2.活用事例

ウィンドウ装飾の出力に活用 / 株式会社ジー・クラフト(東京都葛飾区)



<導入の決め手>

- ・増えているウィンドウの仕事をUCJV300で効率よくできる
- ・多層プリントでウィンドウ装飾の表現力、提案力を向上できる
- ・即日出荷でも安心して対応できる

<効果>

- ・外注から内製へシフト
- ・短期間のボトルネック解消
- ・仕事の幅が広がった

新たな武器として / イベントス株式会社(東京都江東区)



<導入の決め手>

- ・大幅なコストダウン
- ・溶剤のさらに先の技術で新たなビジネスにチャレンジ

<効果>

- ・幅広い受注への対応が可能に
- ・大幅なコストダウン
- ・新たなメディアへプリントが可能に

「システムディスプレイ」ガラス部分に透明メディアが使われることが多い。

1-2.活用事例

A BATHING APE®のブランド設立25周年記念プロジェクト「BAPE XXV」に協賛



2018.9.4～2018.9.7
プレミアムインセンティブショー@東京ビックサイト



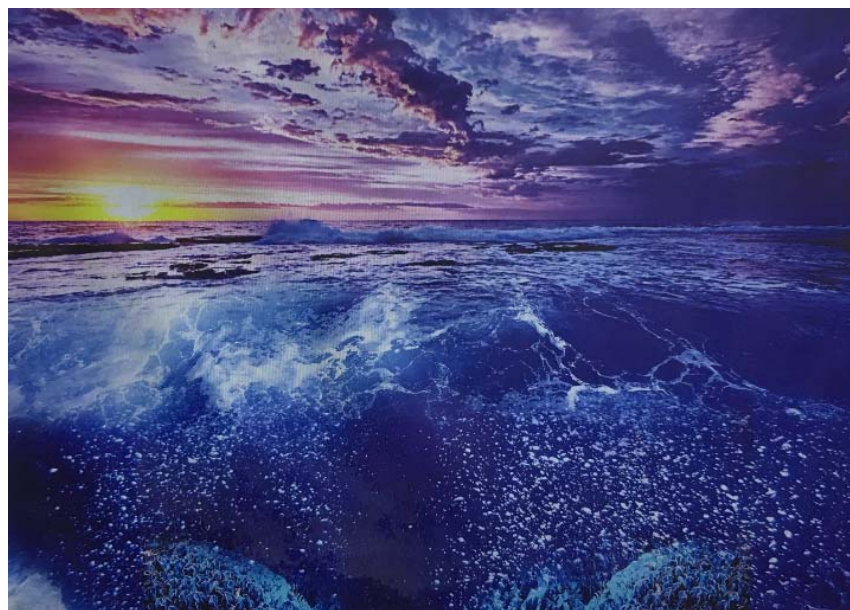
1-2.活用事例



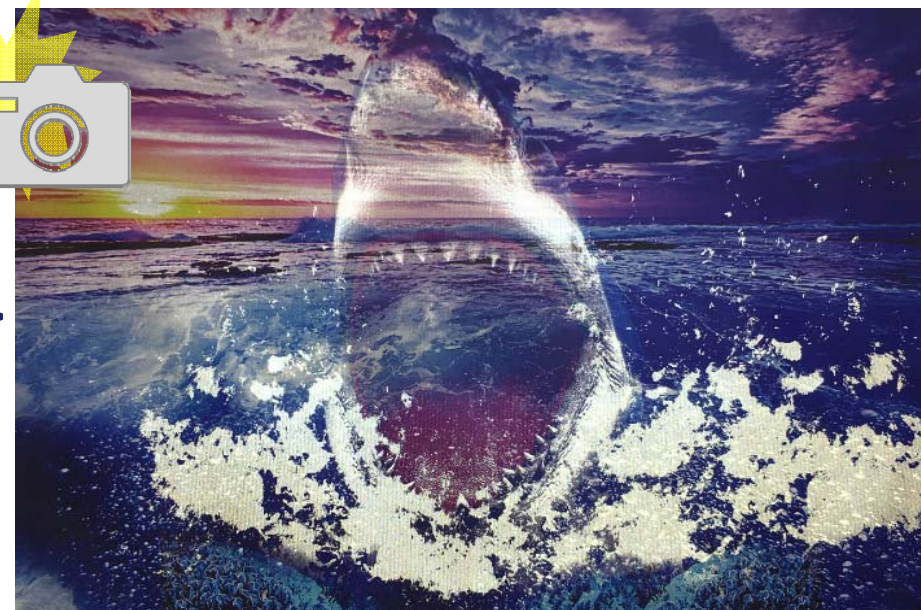
POP



4層印刷



>>>



フラッシュプリント

1-3. ラインナップの拡充

1.6m幅



UCJV300-160



UCJV150-160 (2017年11月販売)

0.8m幅



UCJV300-75

1.1m幅



UCJV300-107

1.3m幅



UCJV300-130

(2018年7月販売)

1-4. アワード受賞

FESPA2018「EDPアワード」を受賞！



2. Tiger-1800B Mk II

Tiger-1800B MkII

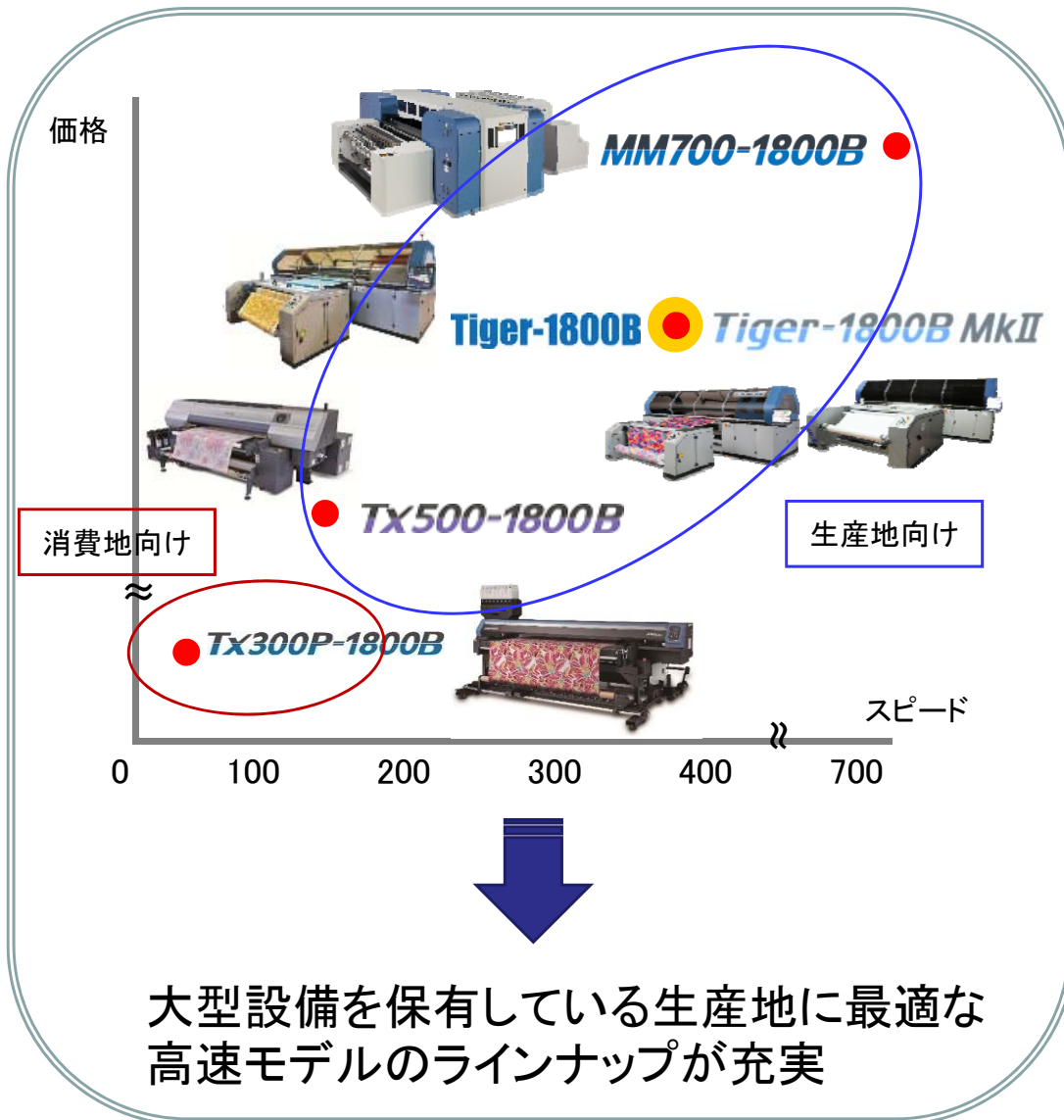


ダイレクト捺染モデル

昇華転写モデル

- TA市場向けハイエンドモデル
- 昇華転写、ダイレクト捺染の両モデル
- ※ 昇華転写
専用転写紙に印刷後、生地を重ねプレス機で圧力をかけてプリント
- ※ ダイレクト捺染
生地に直接プリント
- 幅1.8m、最速385m²/hの高速プリント

2-1.生産地に最適な高速レンジモデル



Tiger-1800B MkII

高画質とプリントモードの追加を実現するミマキコントローラーを搭載

ダイレクト捺染モデル



昇華転写モデル



2018年7月販売開始

2-2. Tiger-1800B Mk II の特徴

①MAPS (Mimaki Advanced Pass System)

MAPSにより境界線をグラデーションの様にすることで、バンディングや色むらを軽減し美しい画質を実現



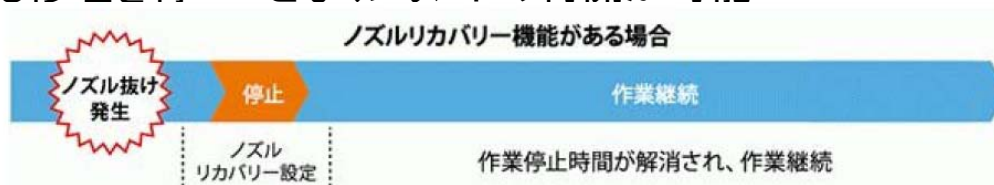
②より高画質なプリントを実現

1,200dpiのプリントモードを追加し、マルチパスにも対応

※ マルチパスは決められた印字範囲を複数回違うノズルでプリントすることで、シマやスジの発生を抑制し、より美しいプリントを実現

③NRS(Nozzle Recovery System)

クリーニングでは改善できないトラブルがあるノズルを別のノズルで代替えてプリント
サービスマンによる修理を待つことなくプリントの再開が可能

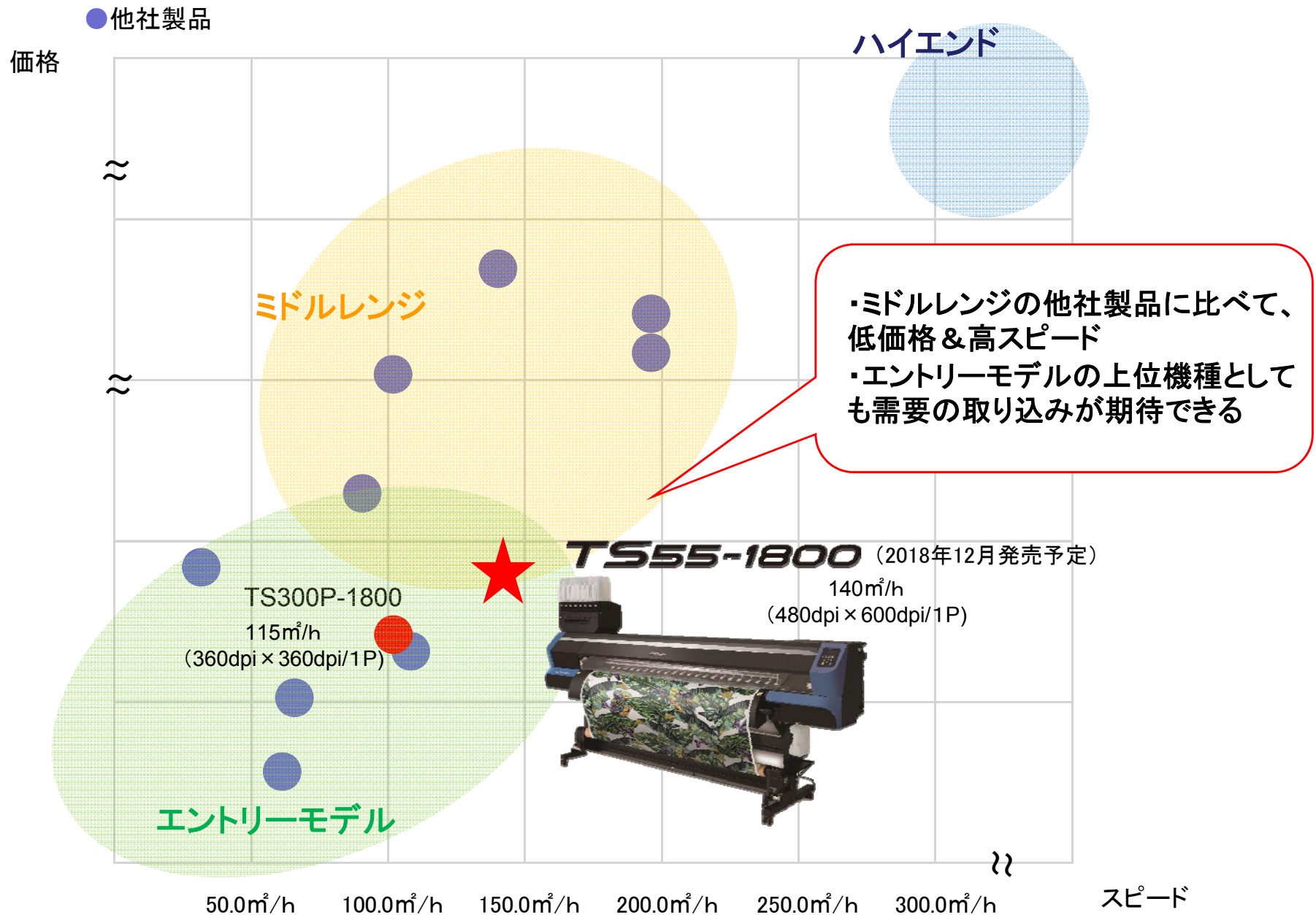


3. TS55-1800



- TA市場向けミドルレンジモデル
- 昇華転写インクジェットプリンタ
- ※ 昇華転写
専用転写紙に印刷後、生地を重ねプレス機で圧力をかけてプリント
- 最速140m²/hの高速プリント
- ミニジャンボロールユニット、10kgインクタンク等オプションが充実

3-1. 昇華転写プリンタのポートフォリオ



3-2.低コスト、長時間連続運転を可能にするオプション

Mimaki

ミニジャンボロールユニット

- ✓ 高速・量産に対応
- ✓ 平米単価を抑え、メディア取換によるダウンタイムを削減



オプション装着状態 背図

TS55-1800

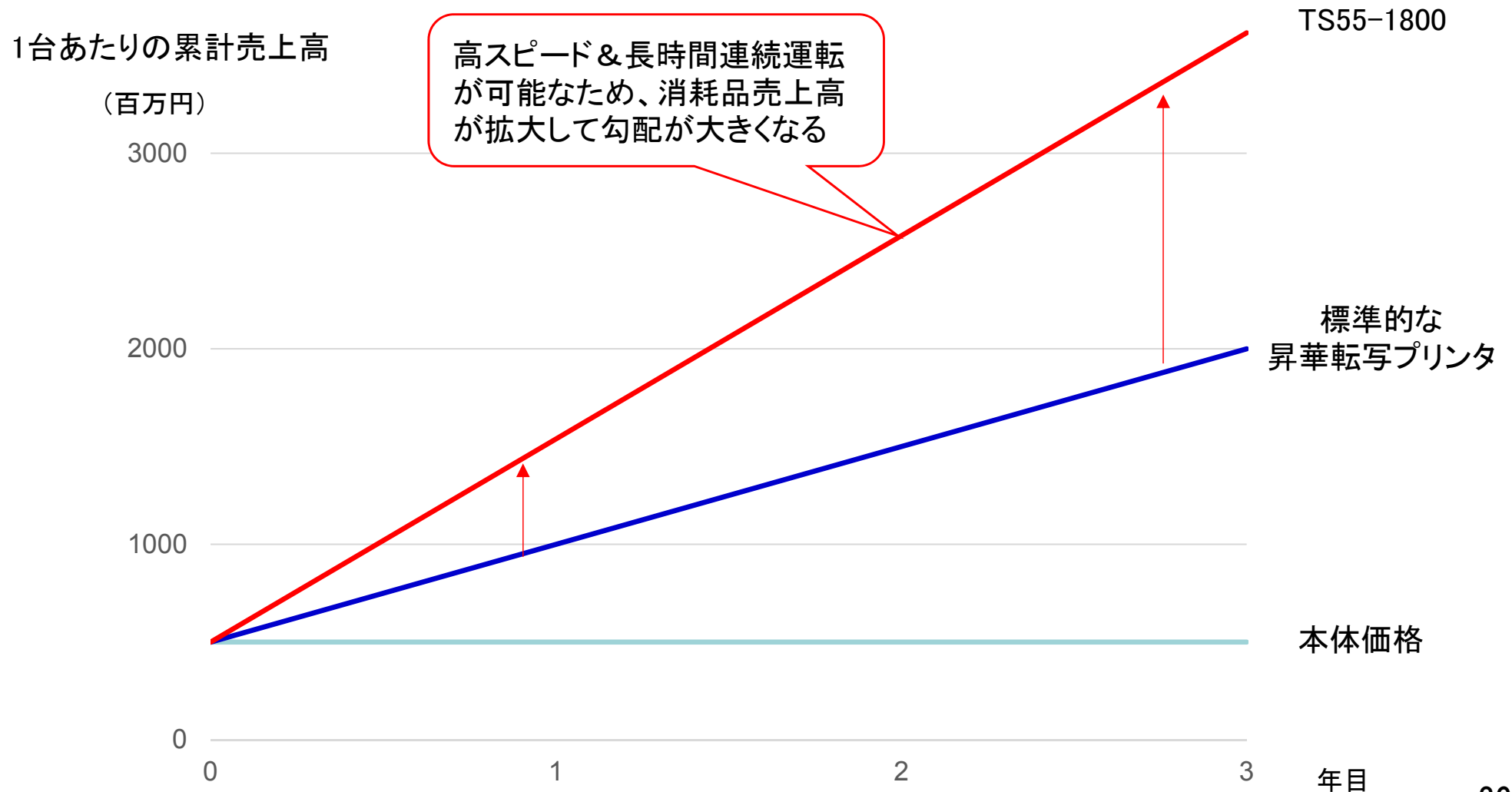
標準モデル

10kgインク供給ユニット

- ✓ 長時間連続運転に対応
- ✓ 大幅なランニングコストの削減、作業時間の短縮が図れる

3-3. 消耗品ビジネス拡大のイメージ

消耗品（インク、転写紙）を含めた1台あたりの累計売上高
（前提条件：同程度の画質のプリントモード、12時間/日、20日/月稼働した場合）



4. M&A

(アルファードesignグループ、楽日)

4-1. アルファードesignグループについて



プロフィール

グループ名称	アルファードesignグループ
所在地	長野県東御市滋野甲2211-3(アルファードesign本社)
代表者	森澤 修二郎
事業内容	ファクトリーオートメーション装置の開発・製造・販売、 基板実装装置の開発・製造・販売、金属加工事業 他
資本金	1億95百万円
設立	1989年1月
従業員数	263名 (2018年9月30日現在)
グループ会社 (国内4社、中国2社)	アルファードesign(株) (株)アルファシステムズ (株)アルファテック (株)砺波製作所 大連阿爾法設計有限公司 阿爾法自動化技術(深圳)有限公司 (上海分公司含む)



4-2. 売上構成比

アルファードesignグループはベクター技術、メカトロニクス技術を基に5つの事業を展開しています。



金属加工事業
15億円



FA装置事業
14億円



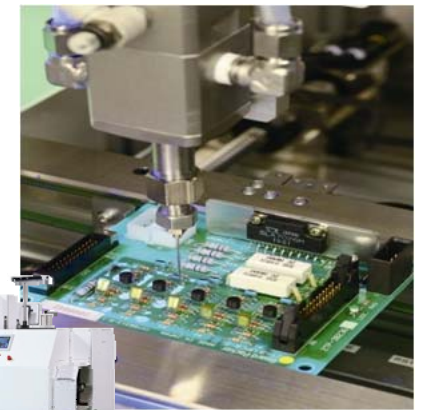
基板検査装置事業
2億円



半導体製造装置
事業
6億円

2018年度売上高
46.1億円
(簡易連結)

基板実装装置事業
9億円



4-3. 事業シナジー

①技術面

- ・ アルファードesignのベクター(*1)技術やメカトロニクス(*2)技術を技術ポートフォリオに組み込むことで、「自動化」「無人化」への対応のほか、様々な高付加価値製品群の内製化が可能

マスカスタマイゼーション



IoT



無人化

省人化

ベクター技術

ラスター技術

メカトロニクス技術

- *1 画像を円や直線などの解析幾何的な図形の集まりとして表現するデータ形式。カッティング技術等において活用される。対置されるラスターとは、各点の濃淡の集まりで画像を表現するデータ形式で、インクジェット技術等において活用される。
- *2 メカニズムとエレクトロニクスの合成語で、機械工学の製品にマイクロコンピュータなどの電子工学分野の成果を付加した高性能・多機能製品の開発を目指す電子機械工学を指す。

4-3. 事業シナジー

②生産面

- ・ ミマキプレジジョンとアルファードesignグループの金属加工事業の機能を融合し、得意分野の分担や加工ノウハウの共有を通じて生産効率を高めることが可能

③営業面

- ・ アルファードesignの主要事業である基板実装事業に、当社グループの販売ネットワークを活用することで売上規模の拡大が可能

④管理面

- ・ 国内外の販売拠点統合による固定費削減や、工場スペースの集約による効率活用、当社の管理会計制度の導入により予実管理や採算管理を通じて経営効率の改善が可能

4-4. 楽日について

プロフィール

商号 株式会社楽日

所在地 東京都渋谷区千駄ヶ谷2-10-5

代表者 加藤 晴久

事業内容 音楽、アニメを中心としたグッズの企画・デザイン・制作・販売等

資本金 3百万円

設立 2007年4月

従業員数
(アルバイト含む) 21名 (2018年9月30日現在)



4-5. 事業シナジー

技術面及び生産面

- ・ 楽日が企画・デザインするグッズの生産を当社グループに取り込み、一定のボリュームを確保することで、「自動化」「無人化」の実用化のための取り組みを行う
- ・ Mimakiの印刷技術を楽日のデザインや商流、著作権とセットにしてアパレル業界等に発信していく



5. 3DUJ-553



- フルカラー3Dプリンタ
- 1000万色以上のフルカラー造形
- 繊細な表現が可能
- クリアインクで表現に幅

5-1.石膏方式との違い

石膏方式



UVインクジェット方式



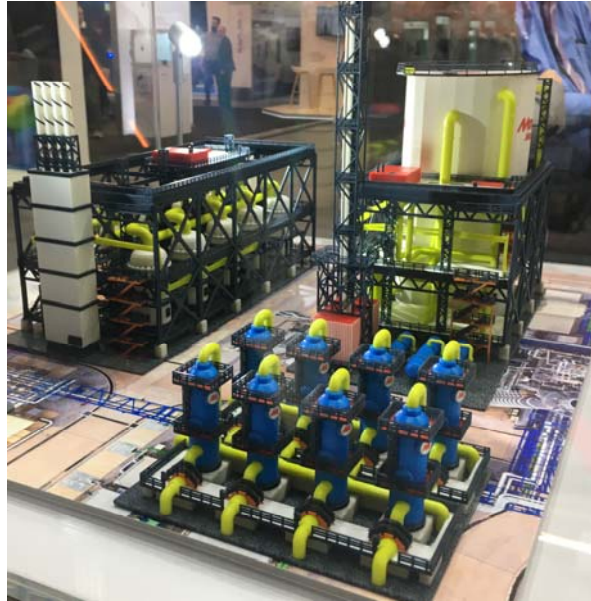
従来の3Dプリント
〈約500万色〉

弊社の3Dプリント
〈1,000万色以上〉

5-2.用途事例



5-2.用途事例

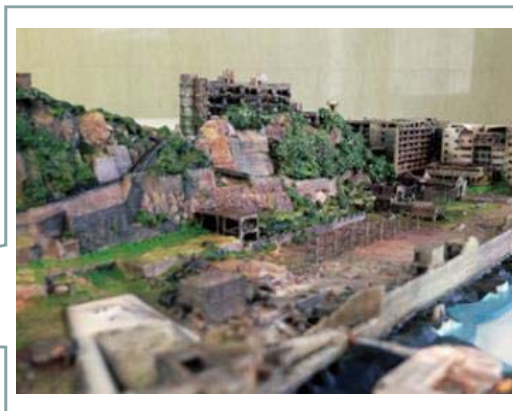


5-3.活用事例

クリエイターによるモデリングの造形等 / 株式会社ホタルコーポレーション

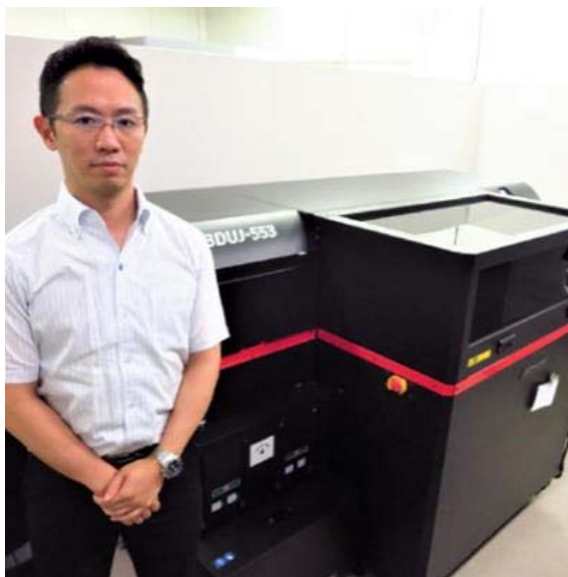


長崎大学に寄贈されたものと同サイズ
62cmの軍艦島



クリエイターの最新作品

工業品の部材試作、臓器模型などの医療分野の造形等 / 株式会社JMC



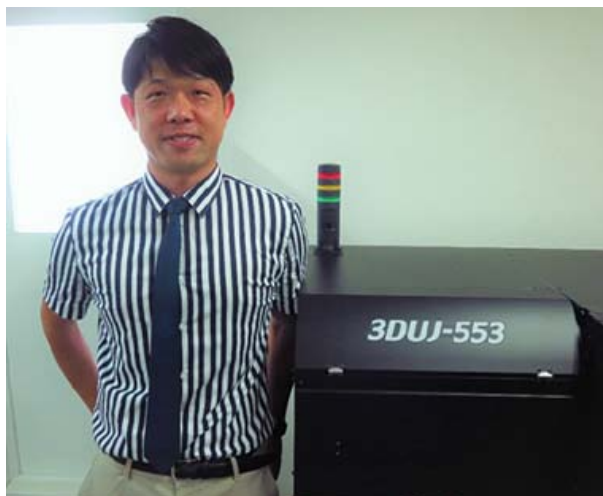
フィギュアサンプル



CTと組み合わせて作成したヤモリ

5-3.活用事例

サイン、記念品、オリジナルグッズ、サンプルの作成等 / 株式会社ビーアンドピー



フルカラーの性能は「圧倒的」と高評価

左がレプリカ、右が本物

漫画やアニメのフィギュア、グッズの作成 / 株式会社ポプルス



元になったイラスト



3Dモデリングデータ



3Dフィギュア

「コミケ94」で販売された著名イラストレーターデザインの3Dフィギュア

5-4. アワード受賞

FESPA2018「EDPアワード」及び
SGIA「アワード2018(3Dプリンタ部門)」を受賞！



本資料に関するお問合せ先

株式会社 **ミマキエンジニアリング**

IR部

TEL(本社) 0268(80)0058

TEL(東京) 03(6362)4290

E-mail mimaki-ir@mimaki.com

IRサイト <https://ir.mimaki.com/>



〔本資料お取扱い上のご注意〕

本資料は、株式会社ミマキエンジニアリング(以下、当社)を理解いただくため、当社が作成したもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。